

インタビュー

「ここは、私らしく働ける居場所」

救急・放射線室に勤務して、今年で3年目になります。カテーテル室や内視鏡室、救急対応など、毎日全力で仕事に励んでいます。入職時から続く、先輩スタッフの手厚いサポートのおかげで、緊急搬送などの緊張感高まる場面でも、今では自信を持って丁寧に対応できるようになりました。3年目の今では指導することも増え、仕事に対する責任感も強くなりました。また、他のスタッフと互いに高め合いながら働く中で「先輩のようになりたい!」「新しい資格を取りたい!」とまい進する一方、ワークライフバランスも大切にしています。今は2交代勤務で、夜勤明けなどは周りの方の配慮もあり、しっかりと休みが取れています。プライベートも大切にしながら、看護師として学び続けられるこの環境は、私が私らしく働ける居場所になっています。



今年で3年目 /
救急・放射線室
草壁菜々さん

仕事もプライベートも充実!
わたしの働き方

1週間の勤務パターン(例) 2交代制の場合

月	火	水	木	金	土	日
日勤	夜勤	夜勤	休み	休み	日勤	日勤
		明け				

日勤
8:30~17:00
(休憩45分)

夜勤
16:30~9:30
(休憩2時間)

進化を続ける看護の世界

患者さんの病院生活を一番近くでサポートする「看護師」。看護のプロフェッショナルとして患者さんの気持ちに寄り添いながら、自分らしく働ける環境を看護師自らで作っています。

本ページでは、北播磨総合医療センターの看護部が進めている取組を紹介し、実際に働いている若手スタッフにお話を聞きました。

看護部が取り組む「キャリアアップ支援」

個々の成長段階にあったサポートを

看護師のキャリアアップを支援することを目的に、「看護キャリア開発支援室」を設置しました。急性期医療の役割を担う病院として、すべての看護師に対して一人一人の成長段階にあった支援をしています。今後も患者さんの思いに寄り添い、地域医療を支えていく看護師を育成していきます。



看護キャリア開発支援室
室長 芝本佳奈さん

一緒に働きませんか?

当医療センターでは、随時スタッフを募集しています!ぜひ一度ホームページで詳細を確認してください。



▲ホームページ



全看護師を対象に経験年数やそれぞれの課題に応じた研修を実施しています。新人看護師には月1回、院内研修を実施しています。



現場に出て一人で患者対応ができるまで、先輩看護師の手厚いサポートによって成長を支える環境を整えています。



ワークライフバランス(WLB)改革委員会の様子。

専門性のある質の高い看護を

看護部には、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を有する「専門看護師」や「認定看護師」が北播磨地域内で最多の計17人在籍しています。資格取得に対しても手厚くサポートしており、多くのスタッフが主体的に学び続けているのも特徴です。今後は院内だけでなく、地域の医療機関と連携しながら、さまざまな場面で貢献できる看護師の育成にさらに取り組んでいきます。

24時間365日患者さんに寄り添い続ける
今年度新たに53人の看護師を採用し、看護部には現在約520人が在籍しています。
看護師は患者さんが安心して治療を受けることができるよう、24時間365日患者さんに寄り添って生活を支えています。常に容態を観察し、医師と連携して治療へとスムーズにつなげたり、最善のケアを行えるよう、一人一人がプロ意識を持って日々取り組んでいます。

看護師自らで働き方を改善

看護師の職場環境の向上に向けて、2年前に若手看護師を中心とした「ワークライフバランス(WLB)改革委員会」を発足しました。月1回、各所属の看護師が集まり、悩み事や希望などを話し合える場を設けています。ここでもとまった意見は病院幹部まで伝わり、改善に向けた検討に生かされます。仕事やプライベートの充実に向けて、自らが働き方の改善に取り組んでいます。



副院長兼看護部長
認定看護管理者
関口靖枝さん